

種別： 男子 **大会名** 平成18年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会 **第41回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会** 試合番号 20

試合日：平成18年8月6日	第2日目	第2試合	2回戦	大阪府寝屋川市	寝屋川公園第一野球場
開始時間	11時07分	終了時間	13時00分	中断時間	試合時間
(球審)	土江 広之	(一塁塁審)	勝部 康人	(二塁塁審)	山岡 三郎
		(三塁塁審)	安川 正義	(副審)	伊藤 良

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
秋田経済法科大学附属高等学校 (秋田)	0	0	0	0	0	2	0								2	4	1
九州産業大学付属九州高等学校 (福岡)	6	5	0	2	0	6	x								19	20	0

チーム名	投手	捕手
秋田経済法科大学附属高等学校 (秋田)	道川 泰亮	大杉 祐輝
九州産業大学付属九州高等学校 (福岡)	岩田 守・丸尾 誠・小野 武人	森 啓・多田 光

チーム名	本塁打	三塁打	二塁打
秋田経済法科大学附属高等学校 (秋田)			栗山 貴史
九州産業大学付属九州高等学校 (福岡)		森 啓、今泉 慶太	本田 竜優、佐藤 貴史、福田 裕作

(戦評) 九州産業大学付属は序盤の大量点で3回戦進出決める。

九州産業大学付属は、初回いきなり無死満塁と攻め立て本田と佐藤のタイムリー、森のタイムリー三塁打等で計6点先取した2回には本田、佐藤の二塁打他、合わせて5本の長短打で5点を追加し序盤で試合を決めた。

一方秋田経報大は6回の表に替わった九州産業大学付属の小野投手から五番栗山がセンターオーバーの二塁打等で2点を返したが、序盤の大量失点と相手投手の強力なリレーの前に力つきた。



公式記録員 佐藤真里子
戦評記載者 梶田 伸雄